



①



②



③



④

住みよい地区づくり

松本茂さん(68)は、4歳年上の奥さんと2人暮らし。芦北町で生まれ育ち、高校進学を機に旧宮原町に移り住んで50年以上になる。

現在暮らしている新村北地区では、昨年度は副区長、今年度からは区長を務め、地区をまとめる役を担っている。以前から地区づくりに熱心に取り組んでおり、「大抵の地区役員は経験しましたよ。」と笑う茂さん。

新型コロナウイルスの影響

で町や地区のイベントは中止が相次ぎ、住民間でふれあう機会は少なくなっている。なかなか思うような地区運営はできないが、住民から寄せられる相談に対して、一緒に解決策を考えるなど、住みよい地区づくりのために出来ることに取り組む。

また、平成30年に完成した新村中塘公園の管理組合長も担っており、組合員と一緒に定期的に清掃活動を行う。

氷川沿いの散歩コースとして公園に立ち寄る人も多く、憩いの場として親しまれている。

軟式野球の審判員

野球好きが高じて40年以上続けている軟式野球の審判員も、大切にしているライフワークの1つ。

大会が続くときは家を空けることも多くなるが、「この年になっても好きなことに取り組めるのはいいこと。」と、奥さんも理解を示す。

「体が動く限り野球に携わりたいですね。」と語る茂さんの情熱は、まだまだ衰えることはない。

- ① 氷川町区長会の会長として、各地区の区長から出る意見を取りまとめる。
- ② 月に2・3回ほど行う新村中塘公園の清掃活動。きれいに管理された公園は地域の憩いの場。
- ③ JSBB(全日本軟式野球連盟)公認審判員として、68歳となった現在も各大会に出場。八代市軟式野球連盟所属。
- ④ 有佐駅前通りの景観設計に取り組む熊本高専の学生からインタビューを受けることも。地域の代表として、現状や課題を伝える。

まちの「がんばりびと」を紹介

住人十彩

2021 June

#14 ~松本 茂さん(新村北)~



松本 茂(まつもと しげる)

昭和28年4月11日生まれ(68歳)
 葦北郡芦北町出身。
 高校進学を機に親元を離れ、旧宮原町で下宿。以後、50年以上に亘り氷川町で生活を送る。
 軟式野球審判員の経験は40年以上で、第54回くまもと未来国体(平成11年)にも出場。
 現在、新村北地区の区長や新村中塘公園管理組合長を務めており、「住みよい地区づくり」に尽力。